

(北海少年院)

【作品】

冬正午 発進直後に 猛吹雪 我らを包む 純白の闇

【講評】

どうしても正午に車で出発しなければならない事情があったのだろう。「冬正午発進」と言葉が続き、緊張感が漂う。その直後の猛吹雪、でも車は進まなくてはならない。猛吹雪の中では前後左右が真っ白で何も見えなくなる。それを「純白の闇」と表現したところがユニークで、詩情が感じられる。猛吹雪に囲まれるのではなく、「包む」と捉えている。上三句までは、猛吹雪に見舞われるという緊迫感があるが、下二句では、緊迫感が消えて、周囲は何も見えず、只々白い中で、不思議な安堵感も味わっていたのではないだろうか。ホワイトアウトを作者独自の感性で捉えた力作である。

【講評者名】

長 田 直 美